

娘 ムスメ
ジントヨ
本調子

百四拍子 一拍子 凡ソ 三分六厘脉

(所要時間凡ソ 三十九秒)

中 ^モ	中 ^ラ	工 ^ラ	工	四	七
工 ^イ	上 ^ビ	五 ^サ	五	上	五
四	四 ^ノ	上 ^ヨ	工 [□]	四	工
上 ^ソ	○	○	○	○	○
中 ^メ	四	上	工 ^{○サ}	合 ^{○ミ}	工
上 ^テ	上	中	五 ^ク	○ ^ミ	五
四 ^ヨ	四 [□]	上	工 ^ハ	七 ^{カゼ}	工
○	○	○ ^シ	○	○	○
四	四 ^{○ジ}	中 ^マ	四 ^ナ	五 ^フ	中
上	乙 ^{ント}	五 ^ノ	上 ^ノ	七 ^ケ	上
四 [□]	合 ^ヨ	工 ^ミ	中 ^ミ	工 ^バ	四
○	上 ^オ	五 ^マ	○	○	○

娘
ジ
ン
ト
ヨ
ー

作詞 久米 恒 勇 仁
作曲 普久原 恒 勇
唄 我如古 より子

[illegible]

一、南風吹けば 咲く花の美らさよ

島の美童の
ジントヨ
想い染めてよ

(ジントヨー)

二、もえて咲く花は
赤花がデイゴよ
里も好きな花
ジントヨ 胸にゆれるよ

三、奥の山々でお茶を摘む頃はよ

与論よろんなつかしや
ジントヨ
辺土へどの岬みさきよ

四、一人待^{ひとりまち}つ夜^よは 月^{つき}の出^でもおそいよ
千鳥波^{ちどりなみ}になく ジントヨ 屋嘉^{やか}の浜^{はま}だよ